



昭和大学藤が丘病院

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

# 病院だより

2015年7・8月

第305号

第305号【2015年7・8月】

発行者：昭和大学藤が丘病院・

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

発行責任者 高橋 寛

(広報委員長)

## 医長就任挨拶

### 藤が丘病院に着任して

藤が丘病院糖尿病・代謝・内分泌内科 医長 長坂 昌一郎

この度、7月1日付けで藤が丘病院に着任致しました。私は、昭和大学では異色の経歴で、自治医科大学の卒業です。ご存知のように、自治医科大学は地域医療に従事する医師を育成する大学で、私も東京都の離島である利島(としま)、山谷地区の診療所、また大分県の僻地の病院などで地域医療を経験しました。私の人生経験の大きな糧です。卒後、内分泌代謝に興味があり自治医科大学内分泌代謝科の研究生となり、その後大学院を経て母校で教員をしておりましたが、今回縁あって、藤が丘病院に採用いただきました。採用にあたってお世話になりました昭和大学医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科学部門主任教授 平野勉先生を始め、関連の先生方に深謝申し上げます。



前任地の自治医科大学附属病院内分泌代謝科は、幅広く糖尿病、内分泌疾患、電解質異常などを扱っており、藤が丘病院でも今までの臨床経験を生かした診療を続けたいと思います。昨今の診療は、画像を含めてデータ重視の傾向が否めません。私は、患者さんの「主訴」や「考えておられること」を重視した診療を心がけていきたいと考えています。

藤が丘病院糖尿病・代謝・内分泌内科は、中堅の講師・助教に加えて、若手医師も多く在籍しています。私の一番のミッションは、将来の昭和大学の糖尿病・代謝・内分泌を担う人材を育成することと考えています。このために、今までの診療経験を伝えていくことが重要ですが、患者さん全体を診ることができる内科全般に詳しい医師を育成したいと考えています。当科のカンファレンスは皆が積極的に発言し、一例一例を掘り下げていく空気に満ちており、この良い伝統を引き継いでまいります。また当科の医師達は研究マインドを持っていますので、更なる研究の活性化を図りたいと考えています。医学生や研修医の教育についても、前任地での教育経験を生かして、「藤が丘病院で実習・研修して良かった」という教育を展開したいと考えています。

糖尿病・代謝・内分泌の診療は、当然他科との連携や、看護師・栄養士・薬剤師などコメディカルとの連携も非常に重要です。このような連携で、不十分と思われる点があれば、どうぞ声をかけてください。また藤が丘病院は地域の基幹病院なので、引き続き地域の医療機関との連携も続きます。

最後になりますが、全く初めて職場にまいり、多くの先生方、コメディカルの方に色々助けていただきました。この場を借りて、厚くお礼申し上げます。今後とも、糖尿病・代謝・内分泌内科へのご支援をよろしく願い申し上げます。

## 春季公開講座講演要旨

### 食中毒と腸炎について

藤が丘病院消化器内科 講師 黒木 優一郎

食中毒とは、食中毒を起こすもととなる細菌やウイルス、有毒な物質がついた食べ物を食べることによって、下痢や腹痛、発熱、吐き気などの症状が出る病気のことです。食中毒の原因によって、病気の症状や食べてから病気になるまでの時間はさまざまで、時には命にもかかわるとも怖い病気です。食中毒は、飲食店などの外食で発生しているだけでなく、家庭でも発生しています。家庭における食中毒は、症状が軽い・家族全員に症状が出ないといった場合もあり、食中毒であると認識されないケースも少なくありません。厚生労働省の統計では、家庭での食中毒の発生件数は全体の1割程度となっていますが、実際にはもっと多く発生していると推測されます。家庭にも食中毒の危険が潜んでいるため日常から注意が必要です。



原因菌として、夏はカンピロバクターやサルモネラ、病原性大腸菌といった細菌が多く、冬はノロウイルスといったウイルスが多くみられます。特に病原性大腸菌は重症になることもあるため注意が必要です。夏場は鶏肉や牛肉、卵などを食べる際には十分注意しましょう。

また、下痢や腹痛、発熱などを生じる原因は食中毒や腸炎だけではなく、大腸がんが原因のこともあれば、潰瘍性大腸炎やクローン病といった炎症性腸疾患といわれる慢性腸炎が潜んでいることもあります。症状が長く続くようであれば、病院を受診するようお勧めします。

一番重要なことは、食中毒に対してきちんと予防することです。食品を扱う際は手洗いをしっかりとし、食材購入後は早めに低温での保存を心掛けてください。また食べる際はしっかりと加熱することも大切です。正しい予防策を身に付け夏場を乗り切りましょう。

## 春季公開講座講演要旨

### 感染性腸炎と微生物

藤が丘病院臨床病理検査室 臨床検査技師 中村 久子

感染性腸炎は、細菌やウイルスなどの感染によって様々な消化器症状が起きる病気です。夏場には細菌が原因となることが多く、冬場はウイルスが原因の大半を占めます。



① 原因となる主な細菌と感染予防

サルモネラ:卵や食肉が感染の原因となります。感染予防には

卵の冷蔵庫保存や、食肉、卵の十分な加熱調理が有効です。  
カンピロバクター:感染予防には食肉の十分な加熱調理が有効です。

大腸菌:通常病原性はありませんが、腸管出血性大腸菌 O-157 など「ベロ毒素」を産生する菌は特に注意が必要です。病原性大腸菌に汚染された食肉や調理器具を介した二次感染により、様々な食品が食中毒の原因となります。感染予防には食材の十分な加熱調理が有効です。

黄色ブドウ球菌:100℃30分の加熱でも分解されない毒素を作り、食品に付いた毒素を摂ることで食中毒が起こります。感染予防には手をよく洗うことが大切です。また手に傷や化膿巣がある人は、食品に直接触らないよう注意することも大切です。

ウエルシュ菌:酸素を嫌う嫌気性菌で酸素の無い状況で増殖します。大釜で大量に作る煮込み料理が原因となりやすいため、調理後はなるべく早く食べるか、なるべく早く冷蔵保存するようにしましょう。

## ② 原因となる主なウイルス

ノロウイルス:11月～3月の冬期を中心に食中毒を起こします。感染力が強いため、調理器具や汚染された環境からの二次感染によって感染の拡大が起こります。

ロタウイルス:2月～5月の冬から春にかけて感染症が流行します。感染力が強いため、乳幼児が集団で生活する場所で集団感染が起こりやすく、注意が必要です。

## 第15回 藤が丘地域連携フォーラム講演要旨 血液疾患の初期対応と検査・治療の進歩

藤が丘病院血液内科 教授 森 啓

血液疾患は最初 common disease として対応されます。血液疾患を考慮すべき診察、検査データのポイントを挙げ、最近の血液疾患の新しい検査および治療の進歩を説明します。

○貧血:平均赤血球容積、網赤血球、Fe、ferritin の値から貧血の鑑別は容易にできます。

鉄欠乏性貧血であれば紹介は消化器内科、婦人科疾患が考えられるなら婦人科です。小球性貧血でFeが正常値の時、ヘモグロビン異常症が考えられ遺伝子解析を行います。

○白血球:健診でも全体として白血球 3000/ $\mu$ L 以下は2%、9000/ $\mu$ L 以上は3%の人にいます。血液像がリンパ球有意、幼若白血球の出現、好塩基球3%以上、貧血、血小板数異常も共にあれば血液疾患です。白血球が増加する疾患の慢性骨髄性白血病の生存率はチロシンキナーゼ阻害剤により90%以上です。

○血小板:血小板低下する疾患で多いものは免疫性血小板減少症(特発性血小板減少性紫斑病)です。出血症状がある時や血小板2万以下の時はすぐに紹介が必要です。検査としてピロリ菌既往の有無、幼若血小板がルーチン検査です。新しい治療としてトロンボポエチン受容体作動薬が使用されています。

○リンパ節腫大:触診で大きさ2cm以上、圧痛、固さがポイントです。一般には多いのはウイルス感染症ですが、壊死性リンパ節炎という疾患もあります。難治性・重症疾患としてウイルス関連血球貪食症候群があります。悪性リンパ腫(B細胞リンパ腫)はCD20モノクローナル抗体治療により治癒率が60%以上となりました。



○蛋白異常:骨髄腫の初発症状はとして背部痛、腰痛が多く最初受診する科は整形外科です。高蛋白高値、貧血、腎機能障害検査異常がポイントです。蛋白分画(泳動図)から骨髄腫の診断は容易にできます。検査法としてフリーライトチェーンが検査され、治療はベルケド、レナリドマイド、サリドマイドがあり、10年前と全く違う時代となりました。

## 第14回 藤が丘地域連携フォーラム講演要旨 腫瘍内科の役割

藤が丘病院腫瘍内科・緩和医療科 教授 市川 度

我が国でも悪性新生物は増加しており、国民の2人に1人が“がん”に罹患し、国民の3人に1人が“がん”で死亡するといわれています。“がん”治療の三本の矢は、外科手術、放射線治療、薬物療法で、藤が丘病院にも、平成26年10月に薬物療法を専門とする診療科として腫瘍内科が開設されました。腫瘍内科とは、特定がん腫にとらわれない臓器横断的な診療体系であり、藤が丘病院では血液腫瘍、小児腫瘍を除く固形がん全般の薬物療法やそのコンサルテーションを行ってまいります。具体的には、



### ① 薬物療法を中心とした良質ながん医療を提供いたします

各種ガイドラインに掲載される「標準的ながん薬物療法」に対応します。最近では、入院することなく初回治療から外来で治療を行うことが一般的になってきました。治療レジメンの変更も含め、外来での治療導入は約20件/月程度対応しています。また、腫瘍センターで施行される外来化学療法の件数は従来300件/月前後でしたが、最近では約350件/月と増加傾向にあり、うち約120件/月を腫瘍内科で担当させて頂いております。

### ② 治療困難例に対する薬物療法を行います

原発不明がんなどの稀少がん、重複がんの治療やコンサルテーションに対応します。透析患者さんなどの臓器機能低下患者さんに対しては、適宜入院のうえ、可能な限り治療を行っています。現在、約20人/日前後の入院患者さんの診療を行っています(緩和目的、がん緊急の入院も含む)。

### ③ 臨床試験、治験を含む開発的治療研究を行います

昭和大学病院、横浜市北部病院、江東豊洲病院の腫瘍内科、内科と共同で、臨床試験を開始しております。現在、治験委受託の可能な体制整備をすすめています。

### ④ がん患者さんの緩和医療と精神的支援を行います

緩和医療に専任として携わる医師を迎え、平成27年4月より腫瘍内科・緩和医療科としてあらたな診療の体制を整えました。現時点では、院内患者のみに限定しておりますが、緩和ケア外来も開始しました。精神症状に関わる精神科医師にも参画頂き、院内の緩和ケアチームも院内の正式な組織として活動を開始しました。緩和ケアチームへの依頼件数は新規約5件/月、チームでのラウンド数も約延べ20件/月程度に増加し、すでに昨年度の依頼件数とチームラウンド数の総数を3ヶ月で凌駕しています。

まだまだ、我が国では馴染みのない腫瘍内科という診療科ですが、患者さんペースはもとより当院で企画する研修会なども通じ



て、地域の先生方との連携を深めてまいりたいと思います。引き続き、御指導、御支援の程、お願い申し上げます。

## 神奈川県がん診療連携指定病院指定に向けて

藤が丘病院腫瘍センターを中心に、神奈川県がん診療連携指定病院指定に向け、体制を整備しています。この一貫として、

1) 4月より毎月1回のオープンカンファレンスを開催しております。

4/21 「固形がんに対する薬物療法の考え方」

5/19 「抗がん剤による悪心・嘔吐への対策-間違っていますか？あなたのやり方」

6/30 「緩和医療のイ・ロ・ハ」

7/28 「リンフォーマの Up to date」



今後も毎月開催し、学外からの演者の招聘も含め、より充実した内容にしてまいります。

2) 緩和ケア研修会を開催しました。

「緩和ケア研修会標準プログラム」に準拠した平成27年第1回藤が丘病院緩和ケア研修会(平成27年7月4、5日)を開催いたしました。開催に際しては、昭和大学病院緩和医療科教授樋口比登実先生、昭和大学横浜市北部病院緩和医療科教授岡本健一郎先生はじめ、多くの昭和大学関連の医師、看護師、ソーシャルワーカーの皆様にご指導と御尽力をいただきました。この場をお借りして、御礼申し上げます。研修修了者は、院外の先生2名を含む医師12名、院内コメディカル6名の計18名でした。来年度以降も定期的に緩和ケア研修会を開催してまいりますので、ご興味のある先生の参加をお待ちいたします。



## 夏バテに負けません

藤が丘病院救急医療センター 看護師 横尾 志おり

藤が丘病院救急医療センターは、横浜市医療政策に基づいた超急性期病院として、特に初期救急医療体制・2次救急体制・横浜市救急医療情報システム(YMIS)・災害救急医療体制について期待されているため一層の充実が求められています。私達もリアーナースによる電話相談を行い、救急搬送に関する不安の軽減や初期対応に努め、患者さんのアドバイスやサポートを行っています。入院後は、救命救急センター10床・後方病棟25床で回復に向けて医師や多職種と協働し、日々精進しております。また、神奈川県災害拠点病院としてYMAT・日本DMAT指定医療機関を取



得して、常に災害時に備えて整備と訓練を実施し、地域に貢献できるよう取り組んでおります。いつ発災するか分からない有事に対し初動態勢を強化し、強い心を持てるようトレーニングしています。今夏は、猛暑により熱中症の方が多く搬送されております。私達も体調管理し、万全の受け入れ体制で夏を乗り越えていきます。

院内サークル紹介

## 今年はJリーグがアツい

Jリーグ観戦同好会

Jリーグは今年から2ステージ制になり、1stステージは我が浦和レッズが無敗優勝を達成しました。2ndステージも混戦必至で、年間王者を決めるチャンピオンシップまで目が離せません。

このサークルは積極的にスタジアムへ足を運んでサッカーを観戦するサークルです。会員同志で地方のアウトゲームまで遠征する人、家族で近くのスタジアムで応援する人など各々です。皆で観戦に行くのが難いため、日本代表戦を大型スクリーンでパブリックビューイングしたこともありました。家のテレビでビール片手にゆっくり観戦するのもいいですが、スタジアムの熱狂的な雰囲気、ゴール裏のサポーターの迫力は現場に行かないと味わえません。ゴールが決まった瞬間皆が総立ちとなりハイタッチで歓喜し合う一体感は最高！まだまだ暑い日が続きますが、スタジアムへ観戦に行き、もっとアツくなりましょう。スタジアムで飲むビールも格別ですよ。



(藤が丘病院医事第一課 小川 孝行)

私立医科大学病院感染対策協議会第7回総会で発表

## 手指消毒を推進しています！

藤が丘病院感染管理室 近藤 恵美子

医療関連感染を減少させるために最も効果的なのは、手洗いまたは擦式手指消毒剤の使用による手指衛生です。当院では、平成2007年度より手指衛生に積極的に取り組んできました。その結果、2014年度の1日1床あたりの擦式手指消毒剤の使用量は14.5mlと、私立医科大学病院感染対策協議会にデータを提出した40病院中5位という結果でした。このことを評価され、7月25日(土)に開催された上記協議会第7回総会において、当院における手指衛生の取り組みを発表させていただきました。今後も患者さんを感染から守るために、全職員が正しいタイミング・手順で手指衛生を遵守できるよう取り組んでいきたいと思ひます。



## 壁画が誕生しました

昨年に引き続き、今年もリハビリテーション病院1階から2階の階段室に壁画が描かれました。これは橘学苑高等学校(横浜市鶴見区)デザイン美術コースの生徒34名がボランティアとして7月28日から8月7日の間に制作したものです。今回の壁画のテー

マは『夕涼み』で、金魚の赤、葉や蛙の緑など見てくれる人の気持ちが華やかになればとの思いが込められています。また、同時期に藤が丘病院2階の壁面にも、トキワ松学園中学校高等学校(東



リハビリテーション病院1階階段室



藤が丘病院2階

の扉から様々な動物たちの世界を覗くデザインとなっており、キリンやゾウ、イルカたちの様子が生き生きと描かれています。

京都目黒区)美術部の生徒とOG、先生の26名の手により壁画が描かれました。開かれた4つ

## 七夕飾り 短冊に願いを込めて

今年も藤が丘病院、藤が丘リハビリテーション病院では7月7日の七夕に向け、願いを込めて笹の飾りつけを行いました。色とりどりの七夕飾りは院内看護師により作られ、病院内に華やかな夏の季節感を与えてくれました。短冊には様々な心温まる願いが書かれ、早くみなさんの願いが叶ってほしいと思います。なお、笹は毎年、近隣住民の方からご寄付いただいております。この場をお借りして御礼申し上げます。



## 地域の盆踊り大会に参加しました



7月18日(土)に藤が丘第3公園にて藤が丘二丁目B自治会夏まつり盆踊り大会が、8月1日(土)には

藤が丘駅前公園にて藤が丘一丁目町内会盆踊り大会が開催されました。両日とも、藤が丘病院・リハビリテーション病院からも看護部・事務部を中心に多職種・大勢の職員が参加しました。職員はお揃いの法被を身に纏い、積極的に踊りの輪に加わるなど、地域住民の方々と交流を深めました。

### 美味しいお話し第9回

## 簡単! 汚れなし! 煙なし! お魚料理??

残暑厳しい中、そろそろ秋!

これからの時季、お魚も脂がのって美味しくなりますね。

でも、お魚は焼くとグリルが汚れ、臭いも……

そこで今回は、私が若き頃、お魚屋さんから教わった“湯煮”をご紹介します。

〈材料〉お魚は切り身でも頭付きでもかまいません。

秋刀魚(初物の時季が近いので)……頭と内臓を取ります

塩

酒……臭み抜き

〈作り方〉

①秋刀魚の切り身全体に塩を当て、お酒を振ります。

②鍋にお湯を沸かし、酒を入れます。

③秋刀魚を食べやすい大きさに切り鍋に入れ、沸騰しないよう3~5分加熱したら取り上げます。

④そのまま食べても、またお好みでアレンジしても!



☆野菜と一緒にマリネ風に☆

☆タレに漬込んで煮魚風味で☆

☆アスパラと柚子胡椒バスタに☆

### ★ポイント★

湯煮は、茹でることで魚の臭みをおとし、蛋白質を凝固させるため、うまみを逃がしません。

沸騰してしまうと、魚の旨味が逃げてしまうので気を付けて!

(藤が丘病院栄養科 澤部 慶子)

## 診療統計

## 2015年6月・7月

	藤が丘病院		リハビリテーション病院	
	2015年6月	2015年7月	2015年6月	2015年7月
外来患者数	30,143人 (1159.4人)	29,650人 (1140.4人)	5,022人 (193.2人)	4,948人 (190.3人)
入院患者数	15,024人 (500.8人)	16,265人 (524.7人)	4,804人 (160.1人)	4,825人 (155.6人)
紹介率	86.8%	87.1%	52.8%	53.1%
逆紹介率	57.5%	54.5%	44.0%	62.0%

### 《編集委員》

高橋 寛  
辻本 さなえ  
飯田八代枝

佐々木 春明  
吉原 利栄  
松尾 悠

小岩 文彦  
出川 美幸  
高橋 良治

池田 裕一  
大塚 幸彦  
(順不同)

磯 良崇  
小宅 育代

芳賀 ひろみ  
岩井 譜憲